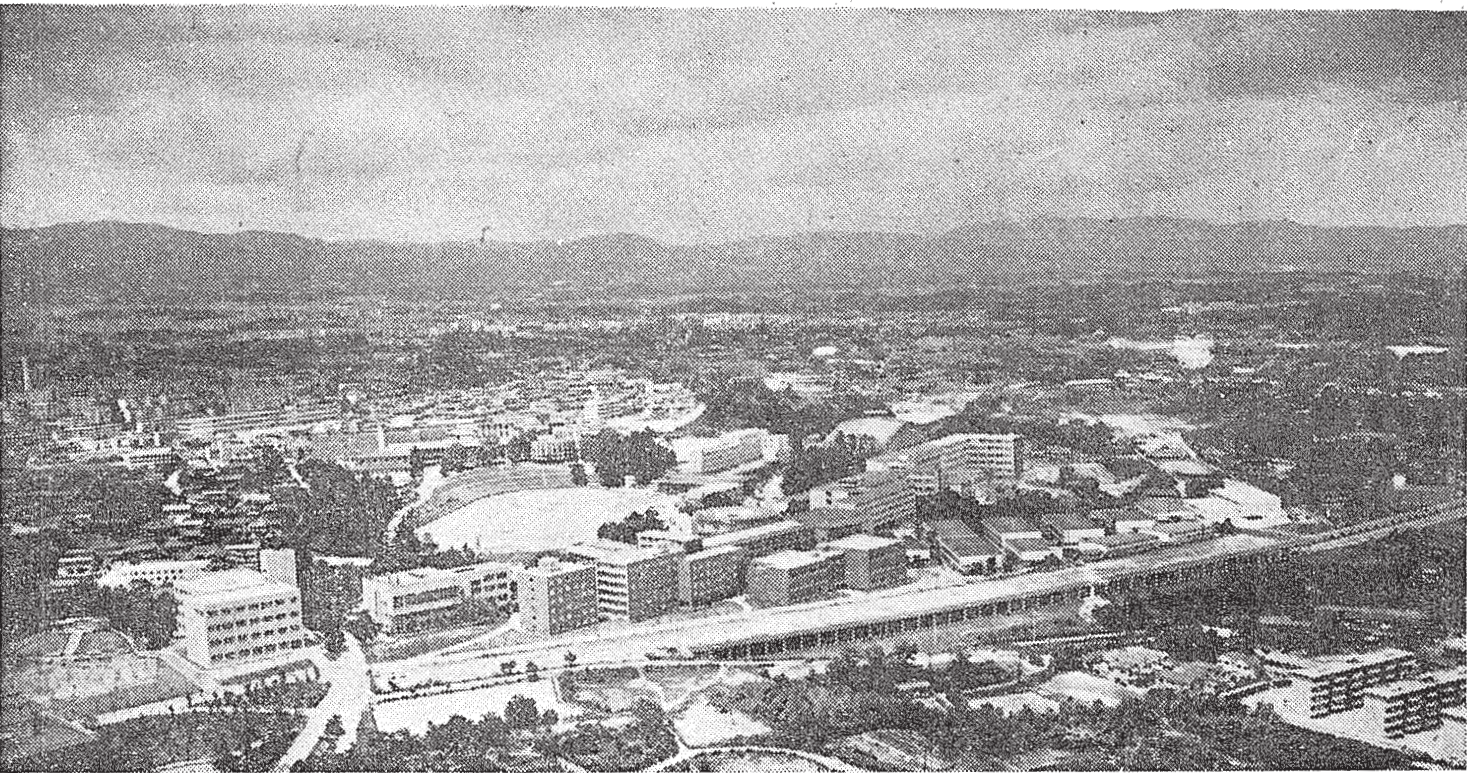


第5号
広報委員会発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会



正常化と改革に決意新た

新年所感

学長代行 廣瀬 捨三



the end justifies the means) といふ論がありますが、これは決して正しいものではありません。いや、その目的に達する

全学の協力望む 慎重に解決の手段を

闘したであろうか。孫悟空はその筋斗雲(きんとうん)に乗れば、一列のうちに十万里を飛行出来るのであるが、三蔵法師に促して天竺へお経を取りに行く時には、やはり一歩一歩行かねばなりません。人生の道程はかくも大切でした。大学紛争はかくも大切で、大学紛争ではとくも目的の為に手段を選ばないのが多かったです。これはいけないことで、いかにその目的に達しないでお金を得る。『恋と戦争は手段を選ばない』(All's fair in love and war) といひますが、これもいけません。戦争でさえ勝ちさえすればよいというのではありません。手段を選ばず、世界の輿論の批判を浴びている事件が、昨今の新聞紙上を賑わしております。親友を裏切った怨念は、一生の恨みの前になり、やがては身の破滅になることは、夏目漱石の『こころ』に描かれております。如何によき目的のために、不正な手段を用いてはなりません。

そんなわけで大学改革の案も、本学では地道な努力を重ねられて、纏られております。早ければ本年前半にその大綱が発表される予定です。いよいよいつかですが、学長代行一人の責任はあくまでも重く、本学多数の方々のウイジョンを現出したいものです。何分本年は、全学の皆様の御協力を御願い申し上げます。私は昨年就任の際、私に与えられた二つの大きな任務として、学園の正常化と、大学改革という二つのことを述べました。おかげで第一

試験、入学試験を目前に控えて、いまに一部の者のために、準備体制を取らねばならないのは、まことに残念なことです。自力で正常化も出来ないで、何が大学改革ですか。この二つは密接な関係がありますので、本年も一段と努力をしたいと思います。昨年の私の課題は、本年より高い段階で、解決して行かねばならないと思っております。(四五、一、一四)

また新しい年がやって来た。自然の世界では、四季をめぐって出発点に戻ってくる。かつては人間も自然の共同体で、毎年新しく生まれかわるための努力を行ない、次の一年に備えていた。ところが、画一化、情報化時代の公害のお蔭か、今年は新年の賀詞にもはや実感が薄く、挨拶が儀礼的であったことは否めない。しかし、そういう上には生活は動いている。何人かの師友と胸襟を開いて語り合ったのは、お慰めのせいだったに違いない。▼そこで、ゆくりなき思い出したのは、道元の師、如浄和尚の説法の語である。「元正悟性、万物成(みな)新なり、伏して大衆を懽(よろこ)ばせり。我々にもこの一見あたり前に見える挨拶も、神妙の句だけに一節細ではいかならない。▼これは、「この新は新を脱離せり。」と註している。新旧の対立を超越した絶対の新。その万物は本来の面目をあらわすというのだ。早春梅の開くことは、同時に梅が春を開くことである。それが各々の本来の面目というのである。しかし、それが絶対的に日々刻々に新、というのなら、これはもう年頭の語である。▼「断絶」とか「断外」とかの喧伝される現今にあって、ちやがて千里山には、去年に変わらず梅や桜が咲くだろう。時には、日常の自分からも、大学や世間の枠からも、又学問からすら脱落して、新しく自分の身辺を見直すことも必要ではないだろうか。梅や桜が梅や桜として見えてくると、むしろ梅や桜に我々が出会うのは、こんな時である。▼八々の間も今年はそうであって欲しい。とにかく「万物みな」なのだから、それは断絶めいた断絶である。

あけましておめでとうございます。昨年後半は殊に全学において、全国的な大学紛争の波をかぶりまして、まるで悪夢のような夏でしたが、おかげで漸次正常化してまいり、十月七日から学長代行に就任させていただきました。時局では、公館や研究棟の封鎖はなしく、今日までのままの状態が続いておりまして、まことに同様に耐えがたい状況でございます。本年も暴力や破壊行為は敢て敢行するとは本年と何ら異りません。全学の教職員学生諸君はいよいよもも暴力を許さないという強い態度を示してまいり、そして本年は昨年のあのような不幸の総決算をやりたいと思っております。自分の御努力をお願い致します。【目的は手段を正当化する】

手段そのものを人生のすべてであるかも知れません。フルーゴアに乗ったマリシヤの勇士達は色々の冒険を経た後、最後に金魚の半の毛皮を手に入れました。しかしその半の毛皮はそれだけの冒険に

手配されたもので、その半の毛皮はそれだけの冒険に

手配されたもので、その半の毛皮はそれだけの冒険に

手配されたもので、その半の毛皮はそれだけの冒険に

昭和四十五年度を迎え、本学を含めて、全国相当数の各大学の学内状況は、なお本来の研究・教育の場を完全に占拠し、すには、時間的にも非常に困難な要因を内包している。

おまじ、長期にわたる学費の増えがこれが改訂のむつかしき、寄附金の減少、国庫助成金増額の遅々たる現況などに

対し、年々改訂を必要とされる人件費の上昇、諸々の物件費の騰勢を考慮すれば、長期的にも

順調にも、財政は一段と、その窮乏を強めてきていることは否めない。

限定された収入の中で、効果的運用をもってその成果を達成す

限されたものに対する修復作業

限されたものに対する修復作業



昭和四十五年度 予算編成の基本方針

常務理事 今井 康 兼

昭和四十五年度を迎え、本学を含めて、全国相当数の各大学の学内状況は、なお本来の研究・教育の場を完全に占拠し、すには、時間的にも非常に困難な要因を内包している。

おまじ、長期にわたる学費の増えがこれが改訂のむつかしき、寄附金の減少、国庫助成金増額の遅々たる現況などに

対し、年々改訂を必要とされる人件費の上昇、諸々の物件費の騰勢を考慮すれば、長期的にも

順調にも、財政は一段と、その窮乏を強めてきていることは否めない。

限定された収入の中で、効果的運用をもってその成果を達成す

限されたものに対する修復作業

限されたものに対する修復作業

改革準備委員会の動き

前号でその発足を報じられた本学改革準備委員会は、その後、学生に関する問題を扱う第一分科会、大学の運営に関する第二分科会、教育、研究に関する第三分科会の三分科会を内部につくり、休眼中も活発に会議を重ね、本委員会9回、分科会16回を数えるにいたっている。

